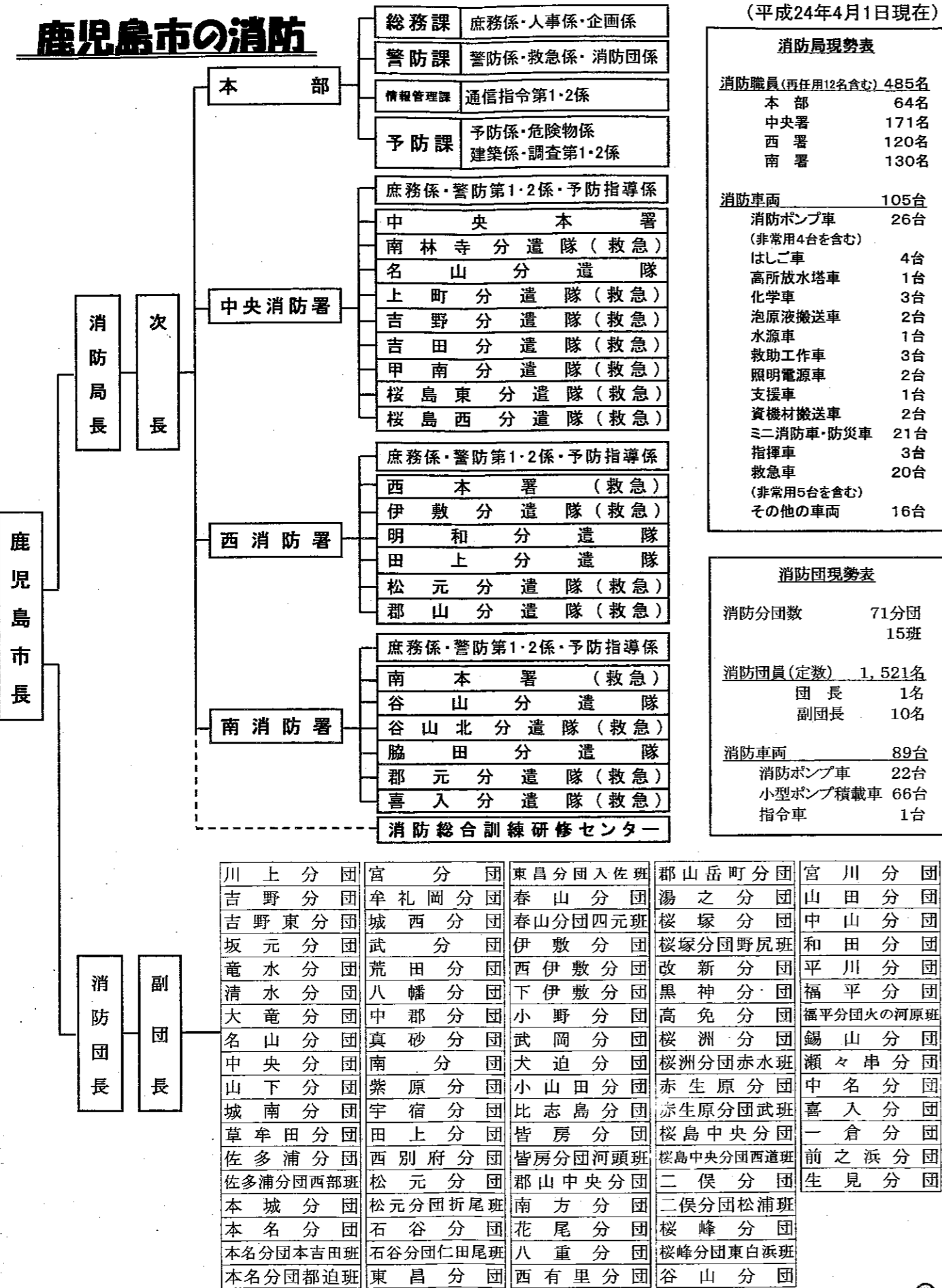


# 鹿児島市の消防



(平成24年4月1日現在)

消防職員(再任用12名含む)	485名
本部	64名
中央署	171名
西署	120名
南署	130名
消防車両	105台
消防ポンプ車	26台
(非常用4台を含む)	
はしご車	4台
高所放水塔車	1台
化学車	3台
泡原液搬送車	2台
水源車	1台
救助工作車	3台
照明電源車	2台
支援車	1台
資機材搬送車	2台
ミニ消防車・防災車	21台
指揮車	3台
救急車	20台
(非常用5台を含む)	
その他の車両	16台

消防分団数	71分団
	15班
消防団員(定数)	1,521名
団長	1名
副団長	10名
消防車両	89台
消防ポンプ車	22台
小型ポンプ積載車	66台
指令車	1台

# 平成25年 鹿児島市消防出初式

とき 1月6日(日) 午前10時00分から

ところ 新栄町22番30号 鹿児島市消防総合訓練研修センター

## 式次第

- 1 開式宣言 10:00
- 2 国旗・市旗掲揚
- 3 市長に敬礼
- 4 人員車両等の報告
- 5 表彰
- 6 市長挨拶
- 7 来賓祝辞
- 8 分列行進(消防隊・消防車両) 12:00
- 9 防火のメッセージ  
むれが岡保育園幼年消防クラブ  
中名保育園幼年消防クラブ
- 10 女性消防団員ポンプ操法
- 11 消防音楽隊演奏
- 12 消防演技  
消防隊による救助技術訓練及び  
署・団による一斉放水
- 13 市長に敬礼
- 14 国旗・市旗降納
- 15 万歳三唱
- 16 閉式宣言

### 消防出初式の由来

万治2年(1659年)1月4日上野東照宮前で四代将軍徳川家綱を筆頭に、老中稲葉正則など江戸幕府の主だった役職武士が参加して、前年に発足したばかりの“定火消”の顔見せ儀式が行われたのが始まりで、鹿児島市でも明治時代から、新春を飾る恒例行事として今日まで続いている。

鹿児島市消防局・鹿児島市消防団